

USPTO、多様性に関する情報を提供するプラットフォームを開設

2024年3月26日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、田畑

USPTOは、3月18日に、「Diversity Information Platform (DI Platform)¹」を開設したことを発表した²。このプラットフォームは、イノベーションエコシステムにおける多様性と包摂性を高めることを目的として、多様性に関するデータが集められたものである。無料で提供される同プラットフォームにより、データに基づく分析が行われ、また、ワンストップで多様性に関する議論やベストプラクティスの共有が行われることが期待される。

同プラットフォームの主なコンテンツは以下のとおりである。

- 2014年から2021年までの米国各州人口や産業人口の視覚化資料
- 自組織の人員構成を同一業界の人員構成データと比較、評価するツール
- イノベーションエコシステムへの参加を促進するためのベストプラクティスを共有するフォーラム
- USPTO 職員の地域別、職種別の人員構成を視覚的に表現したデータ

USPTO の Kathi Vidal 長官は「雇用創出、地域社会に根差した企業活動、そして気候変動や飢餓といった世界的課題の解決に貢献する創造的アイデアを生み出すために、人々のイノベーションエコシステムへの参加を拡大させることが鍵となる。また、あらゆる業界やパートナーに対して、データの共有と分析を通じた協力が求められる取り組みでもある。この新たなプラットフォームは、全ての人々と共に多様性に関する取り組みを発展させるための場所を提供するものである」と発言している。

また、USPTO は、3月20日に、地域社会と USPTO 職員とを結びつけるキャンペーン「Intellectual Property Champions」の開始を発表した³。これは、知財教育の訓練を受けた USPTO 職員（「IP Champions」）が、高校などで知財の重要性について地域住民と議論を行うものである。このキャンペーンの目的は、地域住民の知財への意識を高めることや、知財教育イベントの認知度を高めることなどとされている。

(以上)

¹ <https://developer.uspto.gov/diversity-data/home>

² USPTO's new Diversity Information Platform: Advancing innovation through data-driven action | USPTO

³ Intellectual Property (IP) Champions: Connecting USPTO employees with their communities | USPTO